

平成 26 年 12 月 11 日 00200 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【武道館情報】北見市武道館でペレットストーブが大人気！

北見市武道館では、今冬もペレットストーブの柔らかく優しい温もりが来館の皆様をお迎えいたします。来館して頂いた皆様からは口々に「わー、あったかーい！」と喜ぶ声が、事務室まで聞こえてきます。



武道館の暖房は、主に都市ガスによるセントラルヒーティング・温風暖房、その他一部エアコン暖房となっておりますが、玄関には炎の見えるペレットストーブが置かれ来館するお客様をお迎えします。入館料は無料となっております。



おり、いつでも見学ができますので一度足を運んでいただければ嬉しく思います。(施設長)

【相撲情報】

第3回大鵬杯争奪相撲大会で

北見勢個人戦小学生の部優勝・準優勝団体一般3位入賞！



11月23日(日)大空町東藻琴 B&G 海洋センター(北海道網走郡)で第3回大鵬杯争奪相撲大会が開催されました。【個人戦】小学5年生男子の部 優勝:中澤 完太くん(北見)・準優勝:熊倉 匠胤くん(東京)・小学6年生男子の部 優勝:白神 嶺治くん(札幌)・準優勝:芝田 賢くん(北見)【一般団体】川

合達也氏・阿久津悟氏・茂手木賢人氏団体3位(なかざわ塾)【敢闘賞】茂手木賢人氏(北見)

連載 「武道宝鑑」第1弾 野間清治 <武道の徳>

<武道の徳>11-③

全身それぞれが最善をいたさなければならない。しかし、それ許りでは尚未だ立派な太刀にはならない。右手左手がよく調和しなければならない。右足左足がよく調和しなければならない。手だけ自由になっても、足がお留守になってはいかず、手足だけととのえても、腰が崩れてはいけない。結局、一部は一部として完成し、全部全身がわが心のままに、渾然として最善をつくすと同時に、悉くが一致協力、初めて立派な太刀となるのである。心で思う、手足で行う、その間髪を容れず、全く一になってこそ、そこに神妙の剣も生まれるわけである。これ渾然一体の和の力、即ち瞬息、心気力の一致によるものである。『一部と全部』の理法常にはなる哉と感嘆するのである。

各種の運動も、競技も、体操も舞踊も、斯の如き境地に達する為に、夫々役立つ、支那語では修行の事を『練工夫』というようであるが、斯の境地を目指して格技各芸一心不乱に練磨し工夫すべきである。私は、その中でも剣道がその効果最も著しきものと認めるのである。・・・つづく